



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 興研株式会社
 コード番号 7963 URL <http://www.koken-ltd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村川 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 長坂 利明 TEL 03-5276-1911
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	3,986	△2.5	181	△31.0	178	△25.6	118	△43.2
2018年12月期第2四半期	4,088	△8.7	263	△39.2	240	△38.2	209	△26.1

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 75百万円 (△64.8%) 2018年12月期第2四半期 215百万円 (△38.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	23.72	—
2018年12月期第2四半期	41.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	18,224	9,523	52.3	1,902.74
2018年12月期	18,915	9,587	50.7	1,911.51

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 9,523百万円 2018年12月期 9,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	3.3	450	△3.6	400	△4.9	280	△22.0	55.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 2 Q	5,104,003株	2018年12月期	5,104,003株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	99,008株	2018年12月期	88,507株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 2 Q	5,008,919株	2018年12月期 2 Q	5,015,496株

(注) 2019年12月期第2四半期の期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式には、「株式給付信託（BBT）」及び「株式給付信託（J-E S O P）」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有している当社株式41,200株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付の資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	9
(1) 個別経営成績	9
(2) 品種別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年1～6月)は、米中通商問題の動向や中国経済の成長力の陰り、英国のEU離脱協議の難航などによって世界経済の減速懸念が高まる中、国内景気は輸出や生産の一部に弱さが見られ、先行き不安が高まりつつ推移しました。

このような経営環境の中、当社グループでは『クリーン、ヘルス、セーフティ』各市場において掲げた重点施策への取り組みを進めておりますが、当第2四半期は防衛省向け製品防護マスクの納入時期ずれによる減収を主因に、売上高39億86百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

利益につきましては、昨年秋より運用を開始した先進技術センターに関わる経費増により、営業利益1億81百万円(同31.0%減)、経常利益1億78百万円(同25.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億18百万円(同43.2%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(マスク関連事業)

前第1四半期に1億46百万円の売上のあった防護マスクの納入が、当期は第4四半期となった一方で、産業用防じんマスク、防毒マスクの販売が順調に推移したことから、当事業の売上高は35億23百万円(同1.7%減)となりました。

また、第2四半期に新製品として市場投入した女性向けの使い捨て式防じんマスク「サカキ式 ハイラック330型/335型」につきましては、女性作業者の顔にフィットするマスクを希望する作業・医療現場のお客様からの引き合いが増えております。

(その他事業/環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH(コーチ)」については「アクチュアルクリーン(実際の作業時の清浄度)」及び「KOACH」導入による管理・コスト負担の緩和を訴求する営業活動を前期に続き代理店、販売店と協働して行いました。その結果、販売件数は順調に積み上がり前年同四半期実績を11%上回りましたが、小型機種である「テーブルコーチ」「スタンドコーチ」の受注が堅調であるのに対し、大型機種である「フローコーチ」の受注が前年同四半期比では下回ったため、売上高は前年同四半期実績を超えるまでには至らず、当事業の売上高は4億63百万円(同8.2%減)となりました。

なお、内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍(かがみないし)」については、後継機種「鏡内侍II G」を予定通り7月に発売いたしました。「KOACH」に加え「鏡内侍II G」の販売にも注力し、当事業の業績拡大に努めて参ります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、182億24百万円(前連結会計年度末189億15百万円)となり6億90百万円減少いたしました。これは主に、流動資産が受取手形及び売掛金の減少等により4億28百万円減少したことと、有形固定資産が建設仮勘定の減少等により2億57百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、87億1百万円(前連結会計年度末93億28百万円)となり6億26百万円減少いたしました。これは主に、流動負債が1年内返済予定の長期借入金の増加等により4億91百万円増加したことと、固定負債が長期借入金の減少等により11億18百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、95億23百万円(前連結会計年度末95億87百万円)となり、自己資本比率は52.3%(前連結会計年度末50.7%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、18億97百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億16百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は15億83百万円(前年同四半期は3億51百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が1億77百万円となったことと、売上債権の減少額12億4百万円及び減価償却費2億84百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は19百万円(前年同四半期は10億19百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億72百万円となったことと、有形固定資産の売却による収入1億49百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は8億46百万円(前年同四半期は6億82百万円の収入)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出6億42百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想につきましては、2019年2月12日に公表いたしました予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,916	1,897,636
受取手形及び売掛金	2,594,657	2,037,784
電子記録債権	923,978	276,351
商品及び製品	660,350	658,363
仕掛品	304,822	474,590
原材料及び貯蔵品	538,583	592,275
その他	292,399	129,409
貸倒引当金	△4,000	△3,000
流動資産合計	6,491,708	6,063,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,629,092	3,545,896
機械装置及び運搬具(純額)	588,448	580,399
土地	5,955,890	5,955,672
建設仮勘定	384,408	173,613
その他(純額)	414,302	458,702
有形固定資産合計	10,972,141	10,714,284
無形固定資産	59,214	50,950
投資その他の資産		
繰延税金資産	380,396	368,743
保険積立金	839,623	859,939
その他	178,554	173,594
貸倒引当金	△6,000	△6,000
投資その他の資産合計	1,392,574	1,396,278
固定資産合計	12,423,929	12,161,512
資産合計	18,915,638	18,224,926

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	196,301	251,456
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,192,000	1,753,500
賞与引当金	205,000	113,000
役員賞与引当金	22,750	9,000
未払法人税等	82,397	47,645
その他	669,457	684,921
流動負債合計	3,767,905	4,259,522
固定負債		
長期借入金	4,616,500	3,413,000
役員退職慰労引当金	610,000	628,300
株式給付引当金	39,604	43,004
役員株式給付引当金	13,862	15,186
その他	280,578	342,728
固定負債合計	5,560,544	4,442,218
負債合計	9,328,450	8,701,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,265	674,265
資本剰余金	527,963	527,963
利益剰余金	8,461,641	8,454,298
自己株式	△134,039	△147,878
株主資本合計	9,529,831	9,508,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,209	12,985
繰延ヘッジ損益	△24,783	△49,528
為替換算調整勘定	58,929	51,078
その他の包括利益累計額合計	57,356	14,535
純資産合計	9,587,187	9,523,184
負債純資産合計	18,915,638	18,224,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,088,708	3,986,713
売上原価	2,172,435	2,072,512
売上総利益	1,916,273	1,914,200
販売費及び一般管理費	1,652,591	1,732,385
営業利益	263,682	181,815
営業外収益		
保険返戻金	—	19,374
その他	15,300	24,993
営業外収益合計	15,300	44,368
営業外費用		
支払利息	19,915	24,318
その他	18,846	23,181
営業外費用合計	38,762	47,499
経常利益	240,219	178,683
特別利益		
新株予約権戻入益	60,544	—
特別利益合計	60,544	—
特別損失		
固定資産除却損	1,312	784
特別損失合計	1,312	784
税金等調整前四半期純利益	299,451	177,898
法人税、住民税及び事業税	32,000	34,100
法人税等調整額	58,427	24,986
法人税等合計	90,427	59,086
四半期純利益	209,023	118,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,023	118,811

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	209,023	118,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,036	△10,224
繰延ヘッジ損益	556	△24,745
為替換算調整勘定	10,088	△7,850
その他の包括利益合計	6,608	△42,820
四半期包括利益	215,632	75,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,632	75,991
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	299,451	177,898
減価償却費	199,997	284,559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△1,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	27,400	18,300
賞与引当金の増減額(△は減少)	△148,000	△92,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,200	△13,750
株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,557	3,399
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,848	1,323
受取利息	△59	△67
受取配当金	△1,693	△1,731
支払利息	19,915	24,318
売上債権の増減額(△は増加)	261,525	1,204,498
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,866	△221,932
仕入債務の増減額(△は減少)	△59,484	54,924
新株予約権戻入益	△60,544	—
その他	△83,913	235,805
小計	444,669	1,674,547
利息及び配当金の受取額	1,752	1,799
利息の支払額	△19,916	△24,487
法人税等の支払額	△74,702	△68,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	351,802	1,583,264
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,044,958	△172,821
有形固定資産の売却による収入	35,165	149,777
その他	△9,904	3,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,019,697	△19,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,444,000	—
長期借入金の返済による支出	△581,500	△642,000
自己株式の取得による支出	—	△14,748
配当金の支払額	△150,610	△125,990
その他	△29,758	△63,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	682,131	△846,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,670	△1,037
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,906	716,720
現金及び現金同等物の期首残高	1,808,206	1,180,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,825,113	1,897,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 補足情報

補足情報につきましては、子会社による販売がないため、親会社のみの数値を記載しております。

(1) 個別経営成績

(千円未満切捨て)

区分	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	増減率 (△は減)
	金額	金額	
売上高	4,088,708	3,986,713	△2.5%
営業利益	254,894	149,220	△41.5%
経常利益	238,385	160,891	△32.5%
四半期純利益	207,189	101,019	△51.2%

(2) 品種別売上高

(千円未満切捨て)

区分	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)		比較増減 (△は減)
	金額	比率	金額	比率	
	千円	%	千円	%	千円
防じんマスク	2,058,772	50.4	2,077,490	52.1	18,718
防毒マスク	925,090	22.6	842,318	21.1	△82,772
防じんマスク・防毒マスク 関連その他製品	600,577	14.7	603,789	15.2	3,211
小計	3,584,440	87.7	3,523,598	88.4	△60,842
その他	504,267	12.3	463,114	11.6	△41,153
合計	4,088,708	100.0	3,986,713	100.0	△101,995
(上記のうち輸出分)	(96,013)	(2.3)	(84,854)	(2.1)	(△11,158)